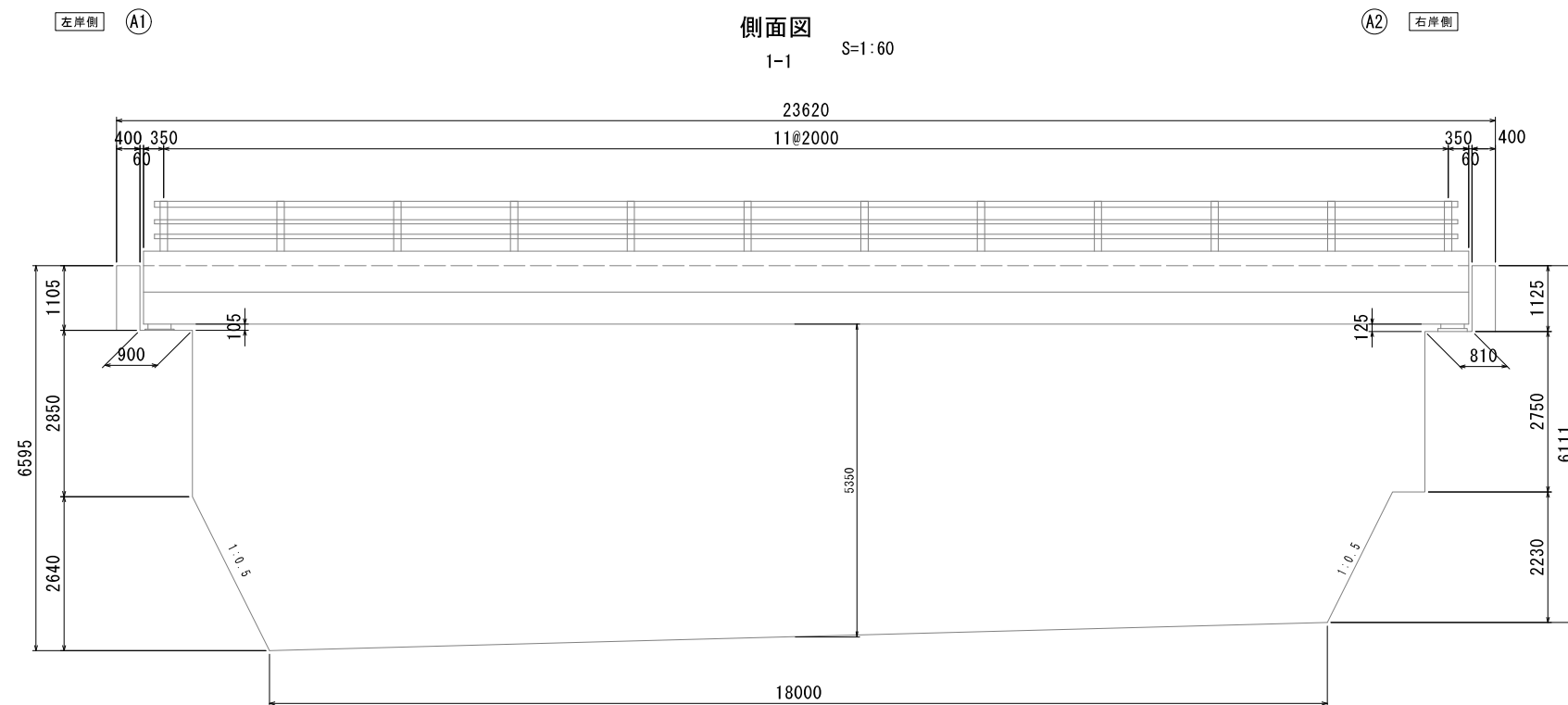
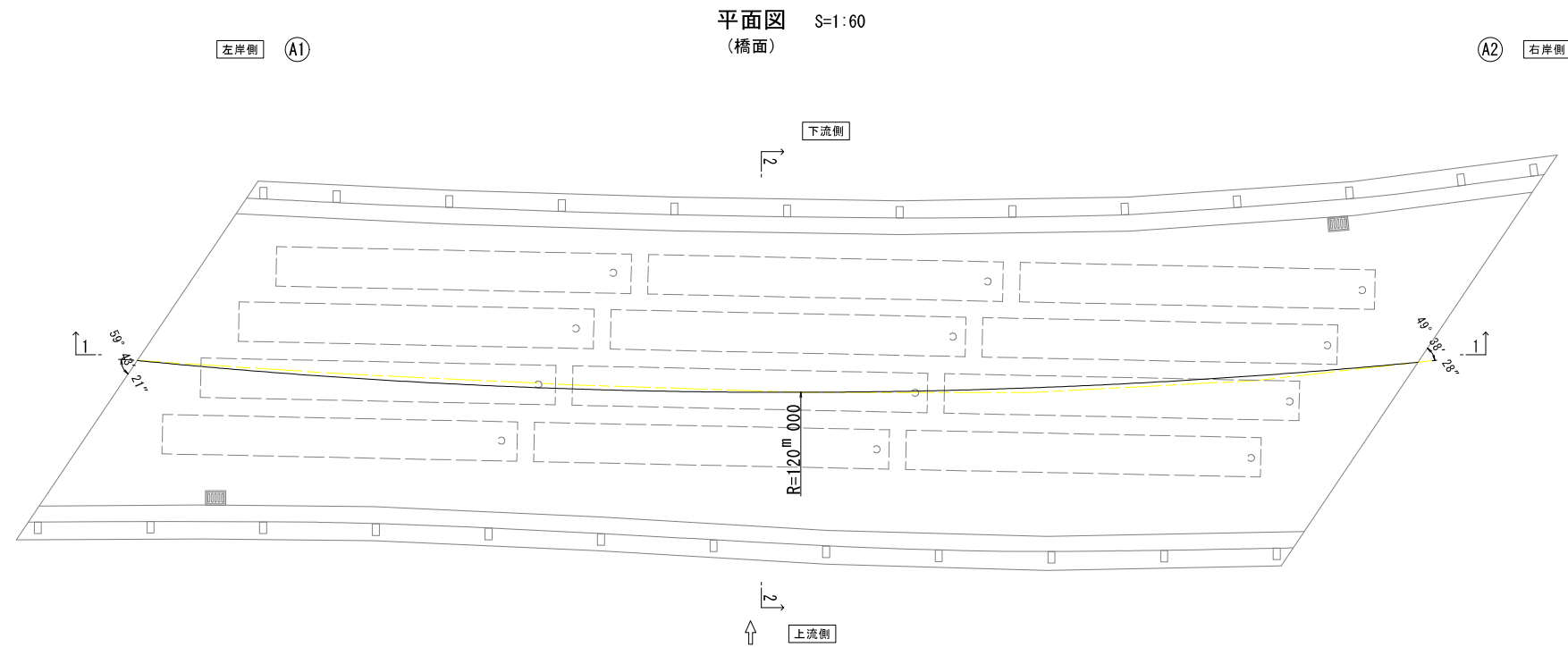
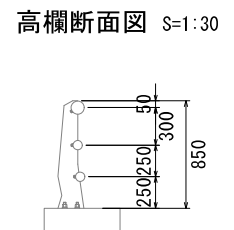
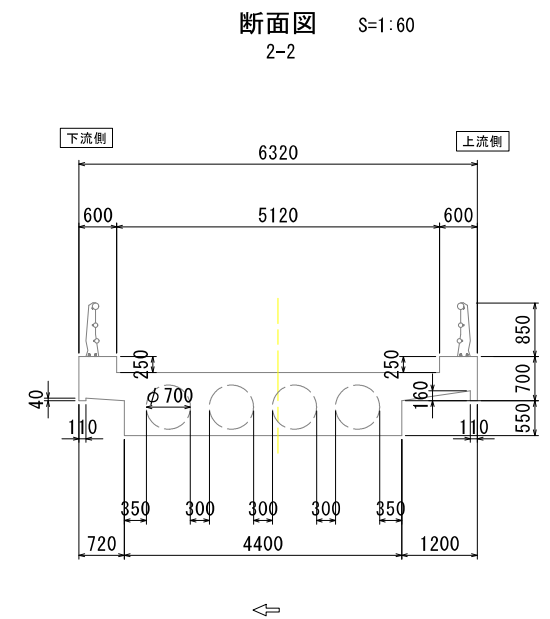


貝原橋 既設橋梁一般図(その1)



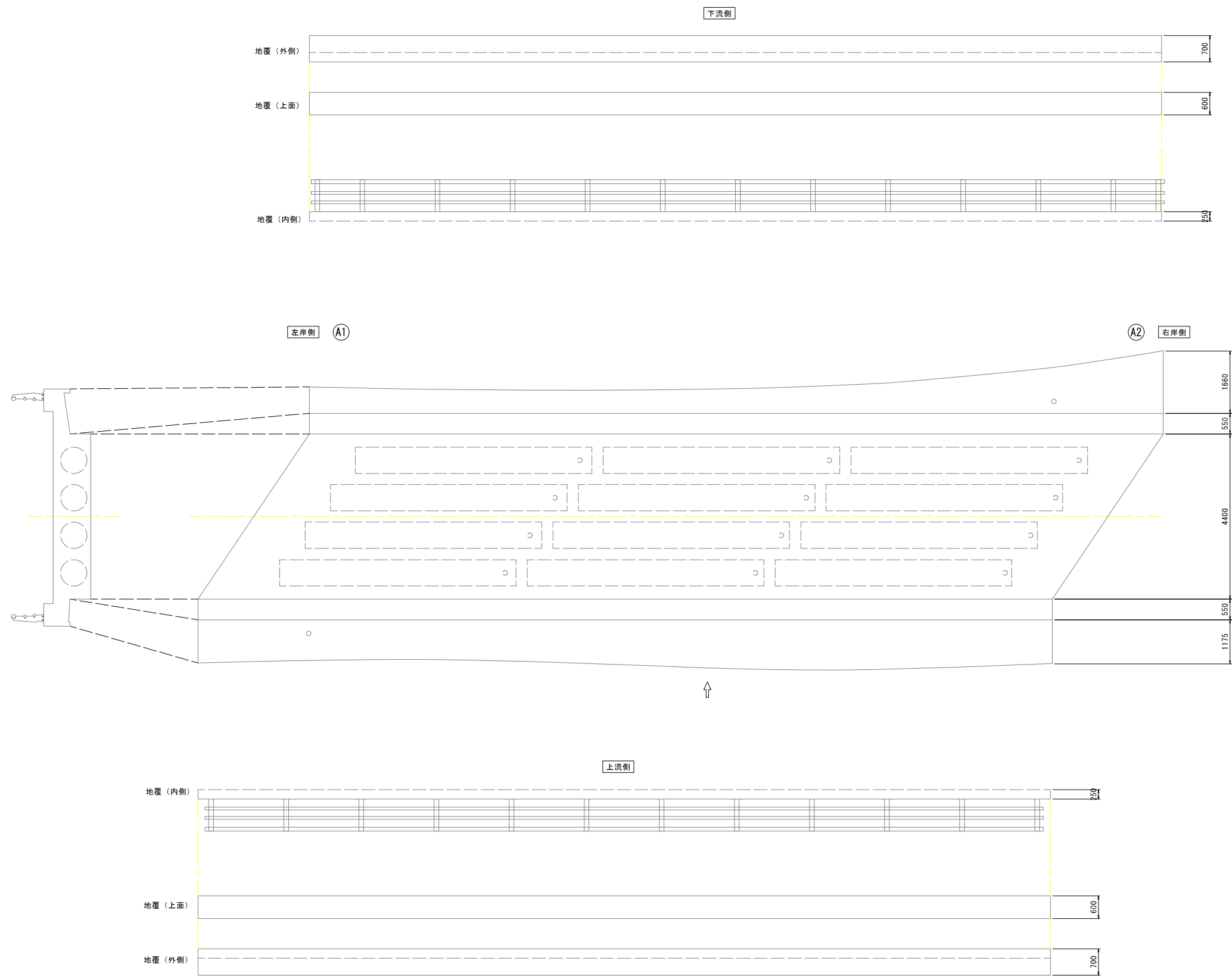
路線名	員原線
橋 格	車道橋
上部工構造	PCボステン中空床版
下部工構造	逆T式橋台
舗装構造	アスファルト舗装(t=55mm)
径間数	1径間
橋 長	23.620m
桁 長	22.700m
支間長	-
幅 員	6.320m(全幅)
斜 角	左59° 43' 21" ～ 左49° 38' 28"
平面線形	R=120 ^m 000
架設竣工年	1985年(S60年)
添加物	なし
交差物件	水路



貝原橋			
工事名	令和5年度越前橋梁補修設計業務		
図面名	貝原橋 既設橋梁一般図(その1)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	図示	図面番号	1 / 14
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原則 建設課		

貝原橋 既設橋梁一般図(その2) S=1:60

展開図

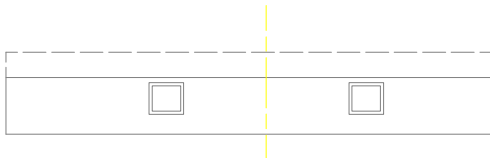


貝原橋			
工事名	令和5年度越橋梁補修設計業務		
図面名	貝原橋 既設橋梁一般図(その2)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	1:60	図面番号	2 / 14
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

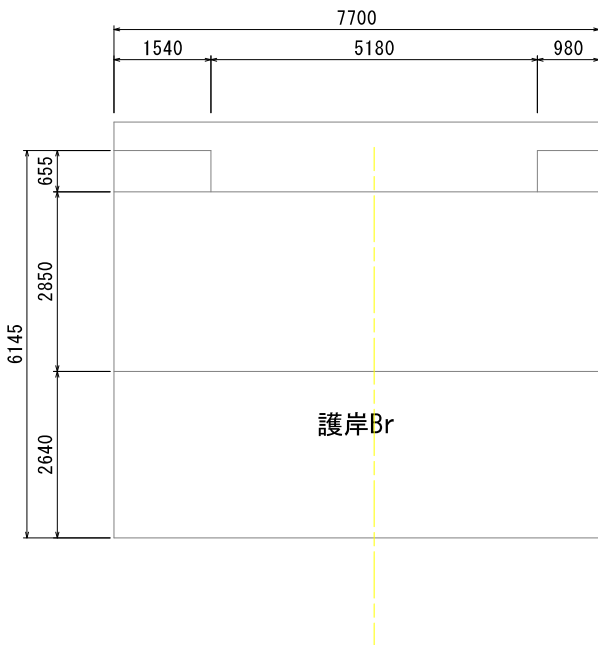
貝原橋 既設橋梁一般図(その3) S=1:60

A1橋台

平面図(沓座面)

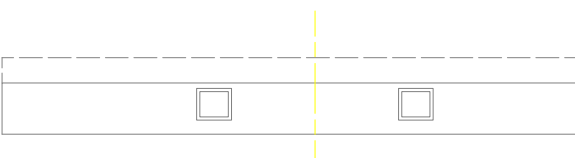


正面図

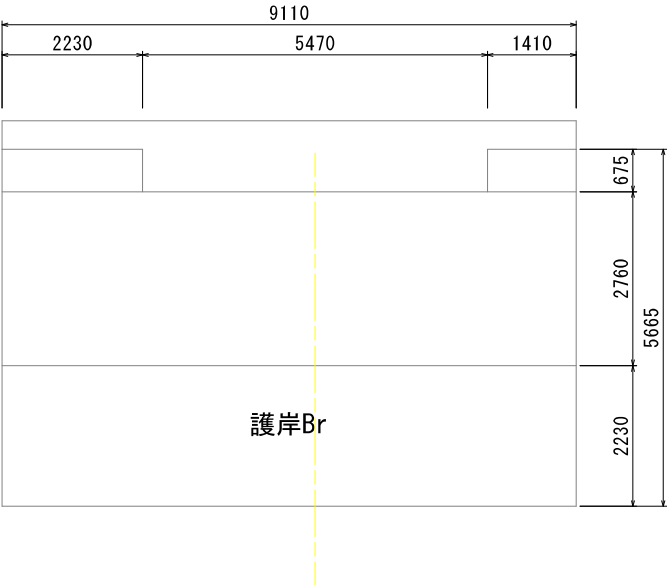


A2橋台

平面図(沓座面)



正面図

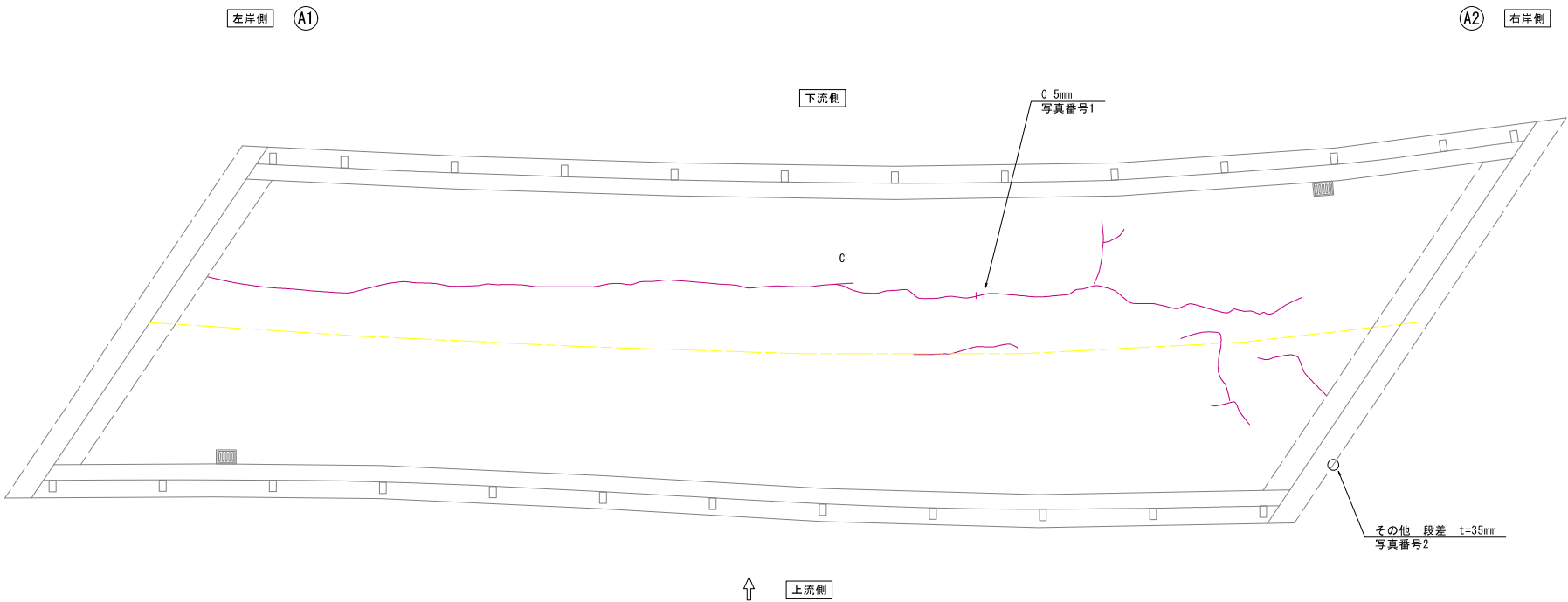


貝原橋			
工事名	令和5年度越前橋梁補修設計業務		
図面名	貝原橋 既設橋梁一般図(その3)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	1:60	図面番号	3 / 14
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

貝原橋 損傷図(その1)

平面図
(橋面)

※防護欄について特記されていない箇所は4防食機能の劣化-C1とする。
写真-3

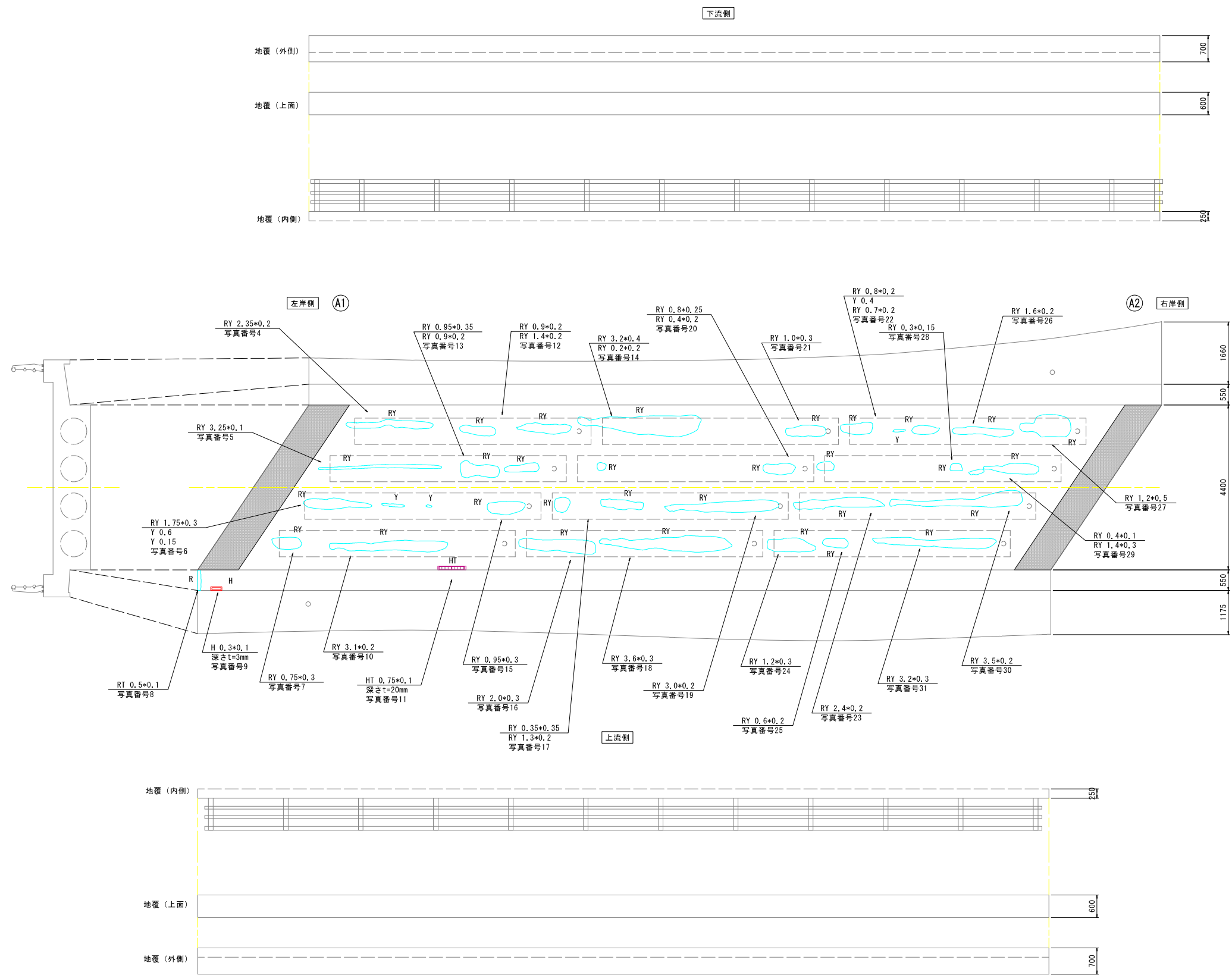


凡 例

	C	ひび割れ (0.2～1.0mm未満)
	CY	遊離石灰を伴うひび割れ (0.2～1.0mm未満)
	C	ひび割れ (1.0mm以上)
	CY	遊離石灰を伴うひび割れ (1.0mm以上)
	U	コンクリートの浮き
	H	コンクリートの剥離
	HT	コンクリートの剥離-鉄筋露出
	R	漏 水
	M	ジャンカ
	腐食	鋼部材腐食、塗膜はがれ
	その他	

貝原橋			
工事名	令和5年度繰越橋梁補修設計業務		
図面名	貝原橋 損傷図(その1)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	1:60	図面番号	4 / 14
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

貝原橋 損傷図(その2)



凡 例

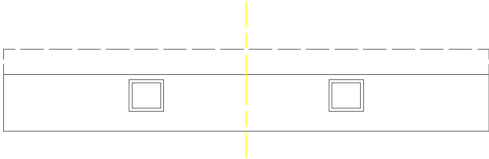
	C	ひび割れ (0.2~1.0mm未満)
	CY	遊離石灰を伴うひび割れ (0.2~1.0mm未満)
	C	ひび割れ (1.0mm以上)
	CY	遊離石灰を伴うひび割れ (1.0mm以上)
	U	コンクリートの浮き
	H	コンクリートの剥離
	HT	コンクリートの剥離-鉄筋露出
	R	漏 水
	M	ジャンカ
	腐食	鋼部材腐食、塗膜はがれ
	その他	

貝原橋			
工事名	令和5年度越前橋梁補修設計業務		
図面名	貝原橋 損傷図(その2)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	1:60	図面番号	5 / 14
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

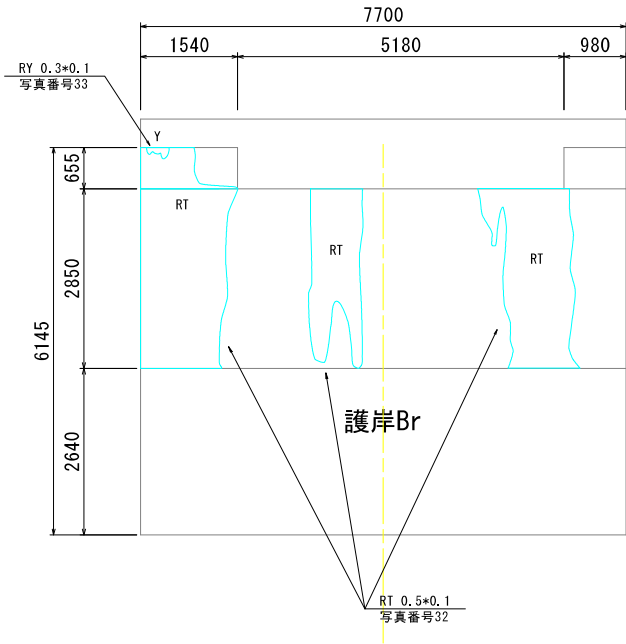
貝原橋 損傷図(その3)

A1橋台

平面図(沓座面)

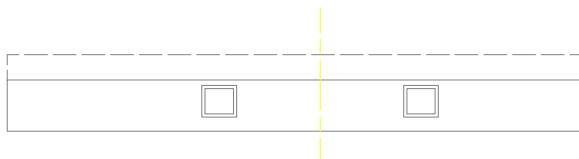


正面図

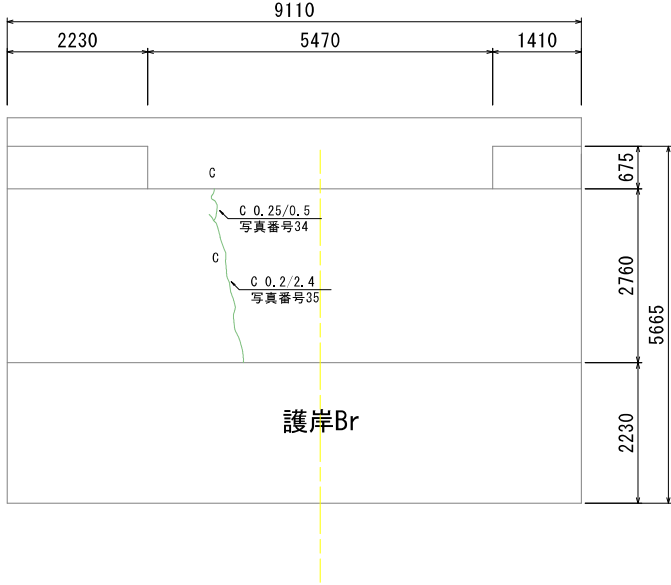


A2橋台

平面図(沓座面)



正面図

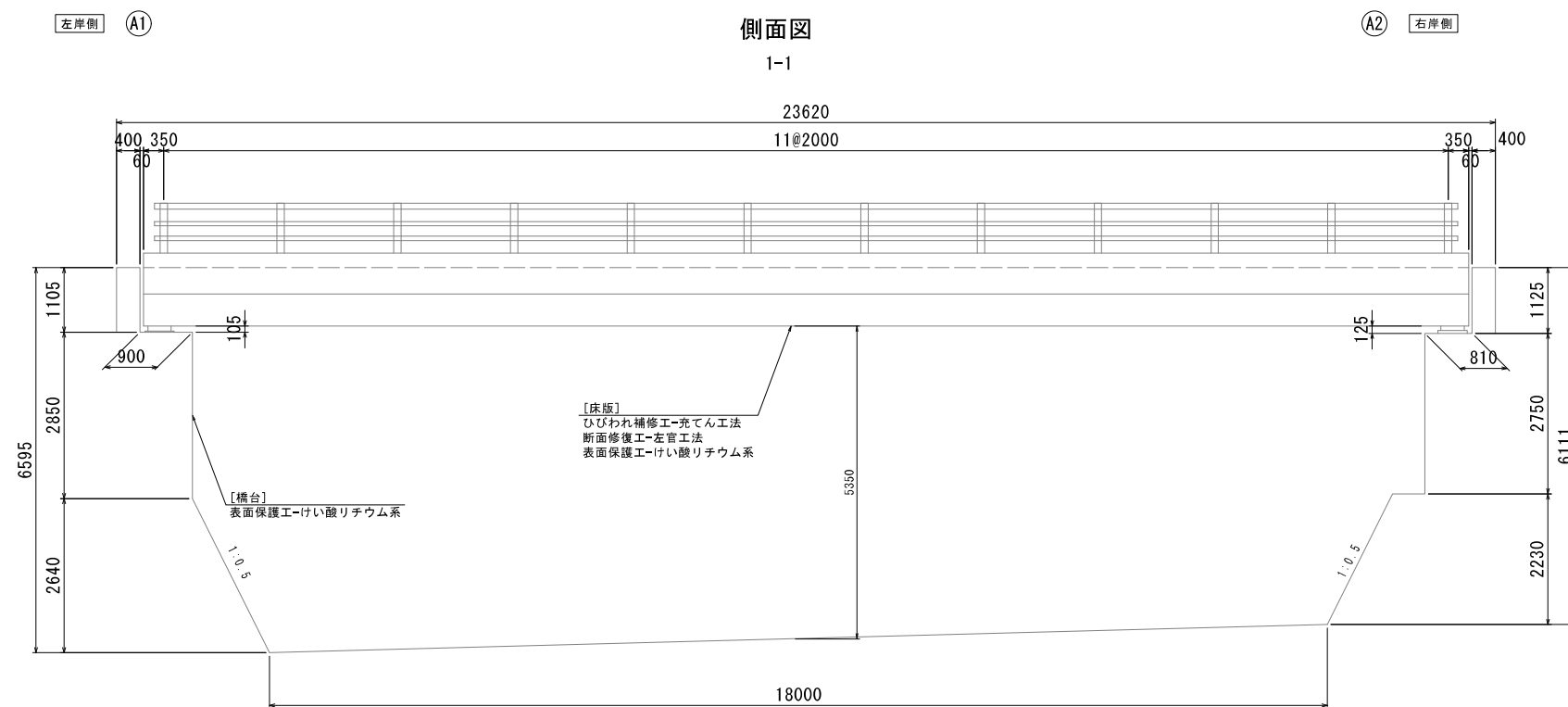
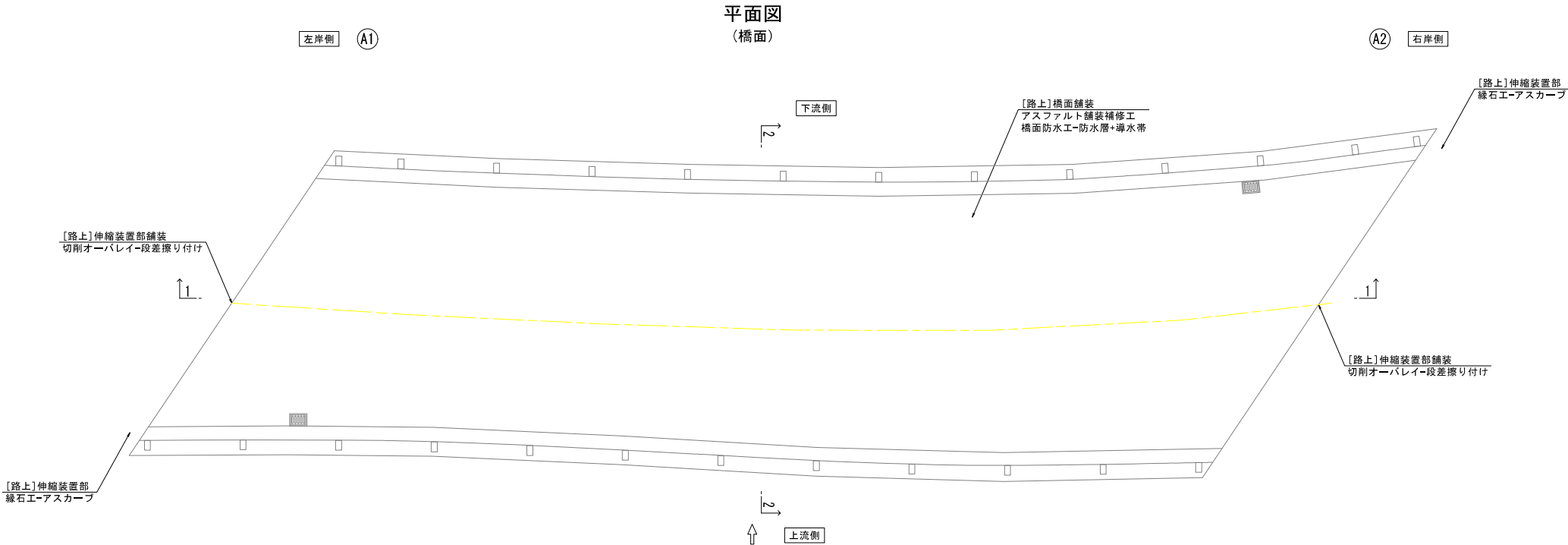


凡 例

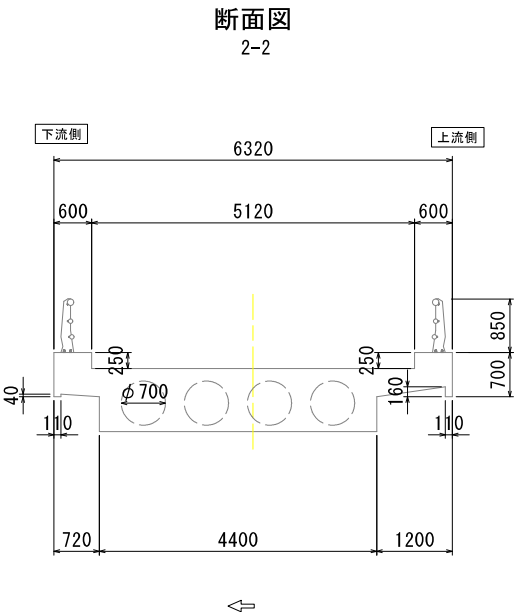
	C	ひび割れ(0.2~1.0mm未満)		HT	コンクリートの剥離-鉄筋露出
	CY	遊離石灰を伴うひび割れ(0.2~1.0mm未満)		R	漏 水
	C	ひび割れ(1.0mm以上)		M	ジャンカ
	CY	遊離石灰を伴うひび割れ(1.0mm以上)		腐食	鋼部材腐食、塗膜はがれ
	U	コンクリートの浮き		その他	
	H	コンクリートの剥離			

貝原橋			
工事名	令和5年度越前橋梁補修設計業務		
図面名	貝原橋 損傷図(その3)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	1:60	図面番号	6 / 14
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

貝原橋 補修計画一般図



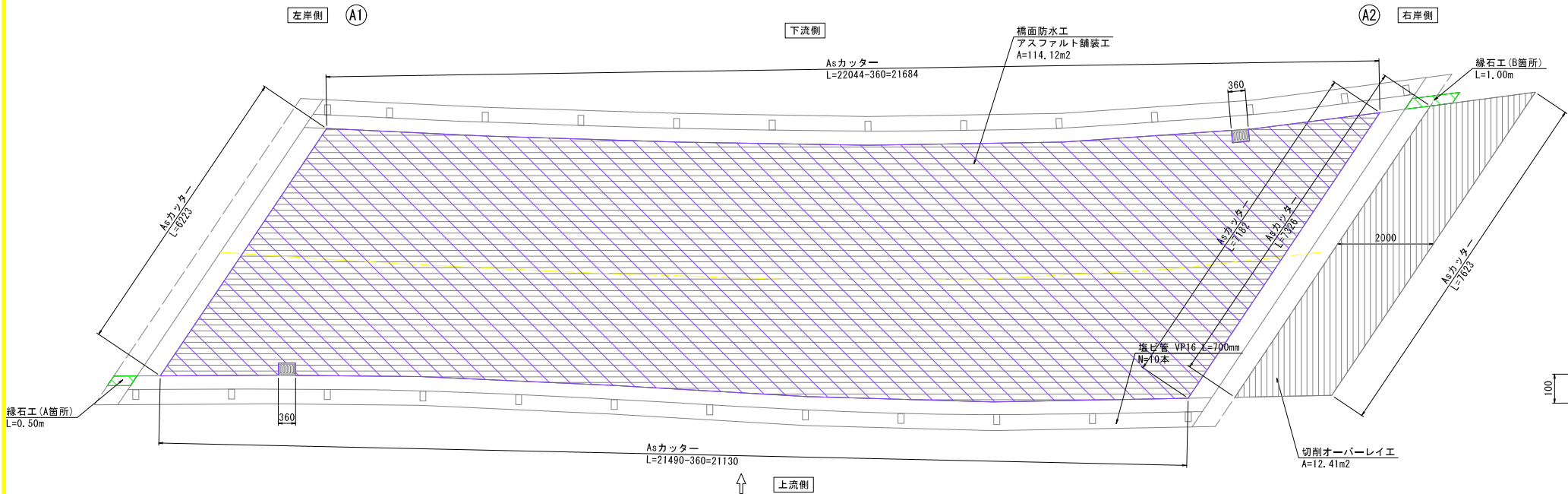
補修工法	部位-部材
ひびわれ補修工	床版
断面修復工	床版
表面保護工	床版、橋台
橋面防水工	路上（橋面舗装）
アスファルト舗装工	路上（橋面舗装）
縁石工	路上（伸縮装置部）
切削オーバーレイ工	路上（伸縮装置部舗装）



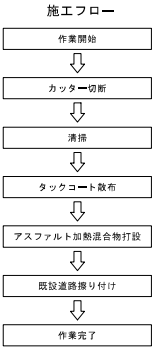
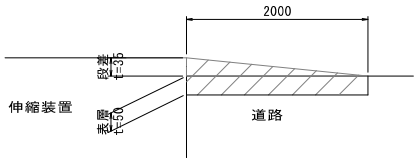
貝原橋			
工事名	令和5年度越橋樑架補修設計業務		
図面名	貝原橋 補修計画一般図		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	1:60	図面番号	7 / 14
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

貝原橋 補修図(その1)

平面図 S=1:60
(橋面)



切削オーバーレイエ
アスファルト舗装

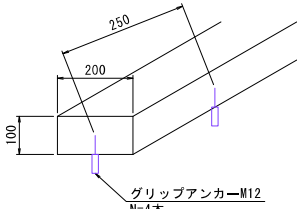


材料表

名 称	形状 材質	単 位	数 量	内 訳
Asカッター		m	14.95	7.326+7.623
As舗装	t=35mm+50mm	m ²	12.41	図面参照
		m ³	1.05	12.41x0.085

縁石工

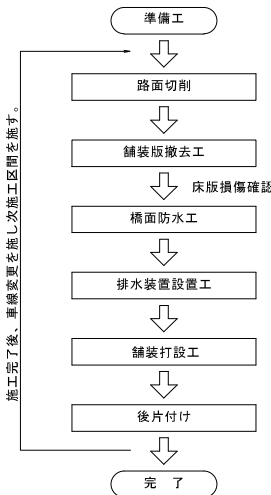
現場打ちコンクリート



材料表

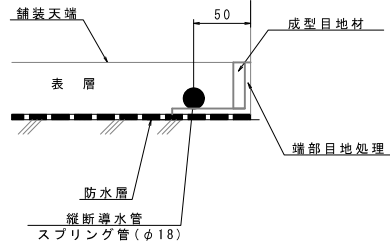
名 称	形状 材質	単 位	数 量	内 訳 (A箇所+B箇所)
コンクリート	σck=24N/mm ²	m ³	0.03	0.01+0.02
同上型枠		m ²	0.38	0.14+0.24
グリップアンカー	M12	本	4	1本+3本

施工フロー

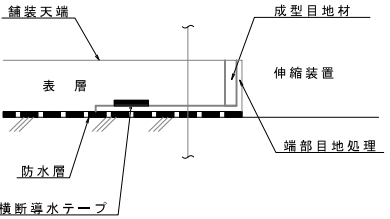


橋面防水工

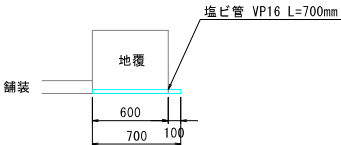
縦断方向



横断方向



排水管配置



路面切削工/アスファルト舗装工 材料表(本橋)

名 称	形状 材質	単 位	数 量	内 訳	備 考
Asカッター		m	56.21	6.22+21.68+21.13+7.18	
As舗装	t=80mm	m ²	114.12	図面参照	
		m ³	9.13	114.12x0.08	

橋面防水工 材料表

名 称	形状 材質	単 位	数 量	内 訳	備 考
防水層	塗膜系防水層	m ²	114.12	図面参照	アスファルト加熱型
縦断導水管	φ18	m	37.62	17.60+1.17+1.52+17.33	
横断導水テープ		m	11.33	5.36+5.97	
成形目地材		m	56.93	6.22+22.04+7.18+21.49	セロシールSS 相当品
端部目地処理		m	56.93	6.22+22.04+7.18+21.49	シルバーメッシュ 相当品
現場削孔	削孔径φ30	箇所	10		200mm以上
塩ビ管	VP16	m	7.00	0.70x10	樹脂製
エポキシ樹脂	1種	kg	2.71	計算書参照	
ガウジング削孔	φ20	m	56.93		

凡 例

	橋面防水工
	As舗装工
	切削オーバーレイエ
	縁石工

防水層の施工に対する留意点

- 本図面は、現地計測及び既存資料をもとに作成した図面である。
- 施工前には周辺住民に説明を行いご理解ご協力を得ること。
- 施工時には河川の水位、天候に十分注意をすること。
- 施工に先立ち接層表面の乾燥状態をよく確認しておくとともにごみ、どろ、その他の有害物は撤去清掃しておくこと。
- 補修工事に当り、各工種とも現地詳細調査を実施し施工寸法及び数量を確定すること。
- 舗装撤去後、著しく床版上面が損傷している場合は別途対策を講じること。(要発注者協議)
- 導水管の継手重ね幅は、5cm以上とする。
- 流末部にて確実に流水されるよう、現地にて調整コンクリート勾配を調整し配置すること。
- 計画路面高さ、天候、気候などの気象条件を確認して施工すること。
- 施工にあたって温度管理、養生、施工面の処理、排水斜付近に対しては十分注意すること。
- 詳細については「道路橋床版防水便覧」(日本道路協会)を参考にすること。

貝原橋

工事名	令和5年度越後橋梁補修設計業務		
図面名	貝原橋 補修図(その1)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	図示	図面番号	8 / 14
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

貝原橋 補修図(その2)

展開図 S=1:60

下流側

地覆 (外側)

地覆 (上面)

地覆 (内側)

22740

左岸側

A1

右岸側

A2

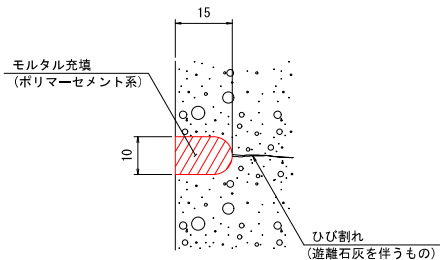
上流側

地覆 (内側)

地覆 (上面)

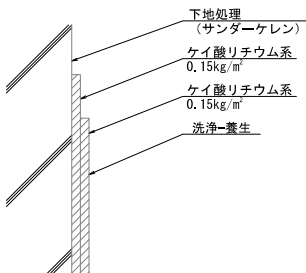
地覆 (外側)

ひびわれ補修工
(充填工法)

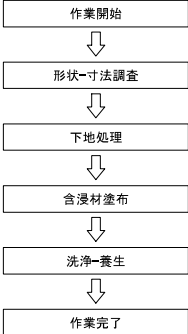


- 注) 1. 本仕様は、下記の条件のひび割れに適用するものとする。
1) 遊離石灰を伴うもの。
2) ひび割れ幅が5.0mm以上10.0mm未満
2. 補修図におけるひび割れ(遊離石灰を伴う)の寸法表記は、長さのみ示す。

表面保護工
(ケイ酸リチウム系表面含浸材)

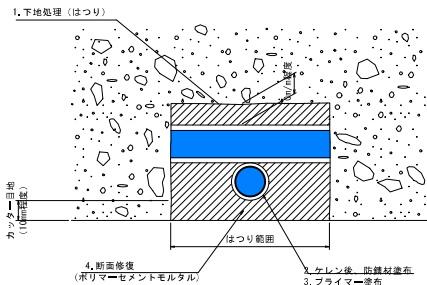


施工手順



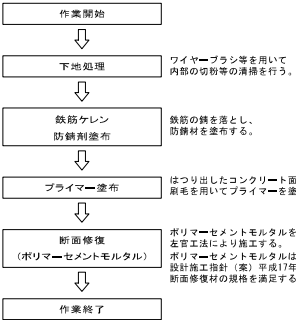
- ※ 表面保護材はケイ酸リチウム系表面含浸材とする。
※ コンクリート表面のサンダーケレンは十分に行うこと。
※ 気温5℃以下では施工しないこと。
※ 標準塗布量: 0.30kg/m²以上とする。
※ 含浸材塗布後の洗浄は十分に行った後、表面を乾燥させること。
※ 材料は可使用時間内に使用し、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。

断面修復工
(左官工法)



- 注) ※ 鉄筋周辺のうきおよび劣化したコンクリートは除去すること。
※ 断面修復工は、原型模倣を基本とする。
※ 材料は、雨後時間内に使用し、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。
※ フェーザーエッジの発生防止のため、コンクリートカッターによりカッター目地を垂直に施工する。

施工手順



貝原橋

工事名	令和5年度緑越橋梁補修設計業務		
図面名	貝原橋 補修図(その2)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	図示	図面番号	9 / 14
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

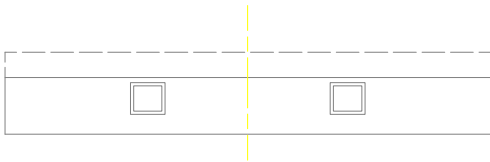
凡 例

	ひびわれ補修工(充填工法)
	断面修復工(左官工法)
	表面保護工(表面含浸工法)

貝原橋 補修図(その3)

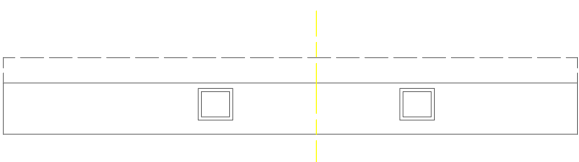
A1橋台

平面図(沓座面)

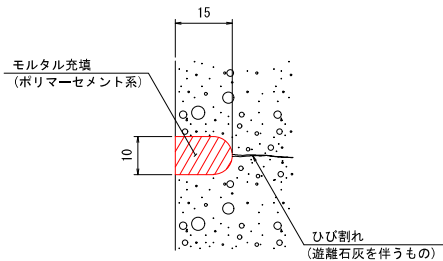


A2橋台

平面図(沓座面)



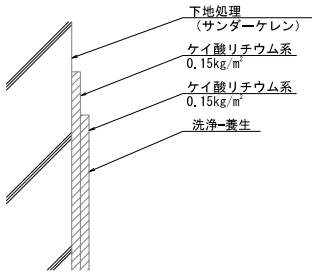
ひびわれ補修工
(充填工法)



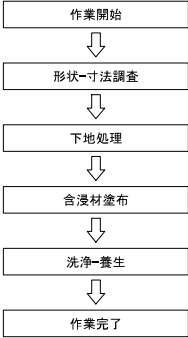
- 注) 1. 本仕様は、下記の条件のひび割れに適用するものとする。
1) 遊離石灰を伴うもの。
2) ひび割れ幅が5.0mm以上10.0mm未満
2. 補修図におけるひび割れ(遊離石灰を伴う)の寸法表記は、長さのみ示す。

表面保護工

(ケイ酸リチウム系表面含浸材)

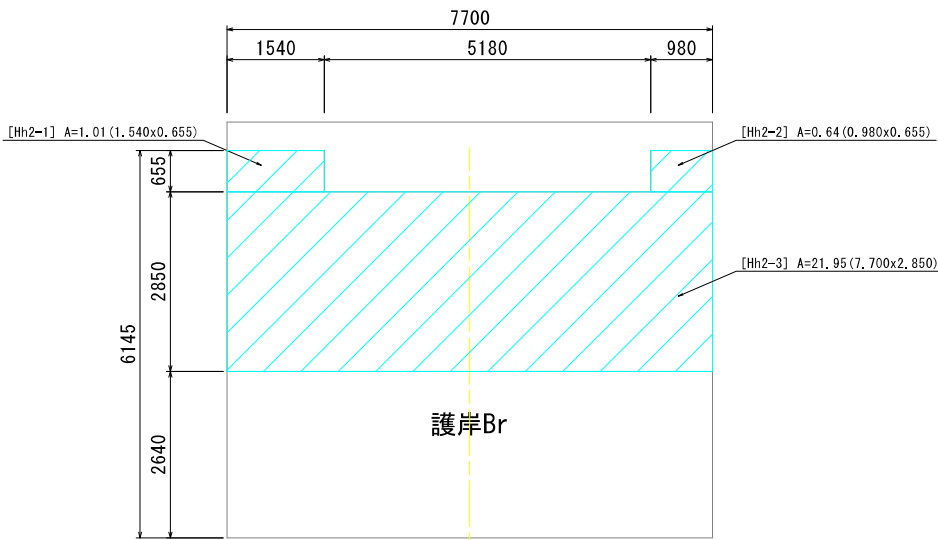


施工手順

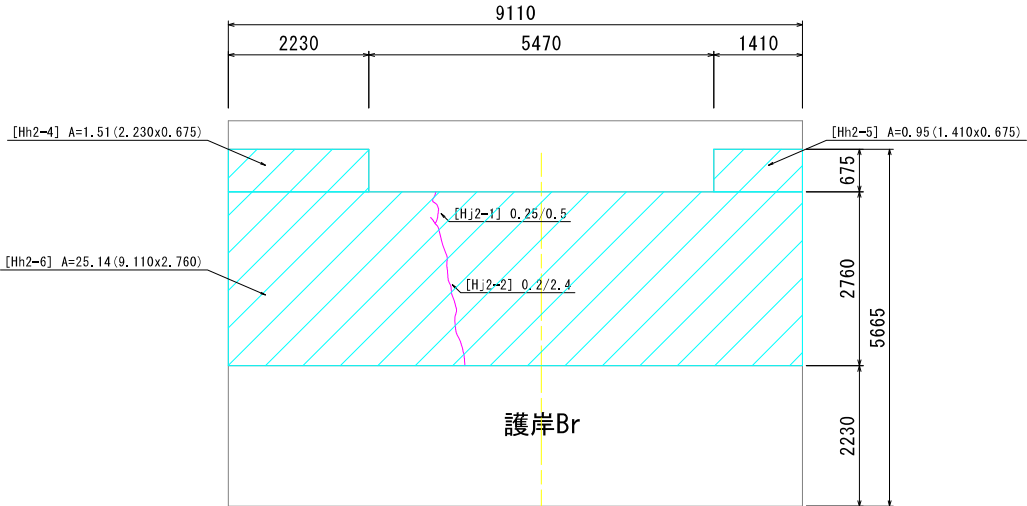


- ※ 表面保護材はケイ酸リチウム系表面含浸材とする。
※ コンクリート表面のサンダーケレンは十分に行うこと。
※ 気温5℃以下では施工しないこと。
※ 標準塗布量：0.30kg/m²以上とすること。
※ 含浸材塗布後の洗浄は十分に行った後、表面を乾燥させること。
※ 材料は可使時間内に使用し、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。

正面図



正面図

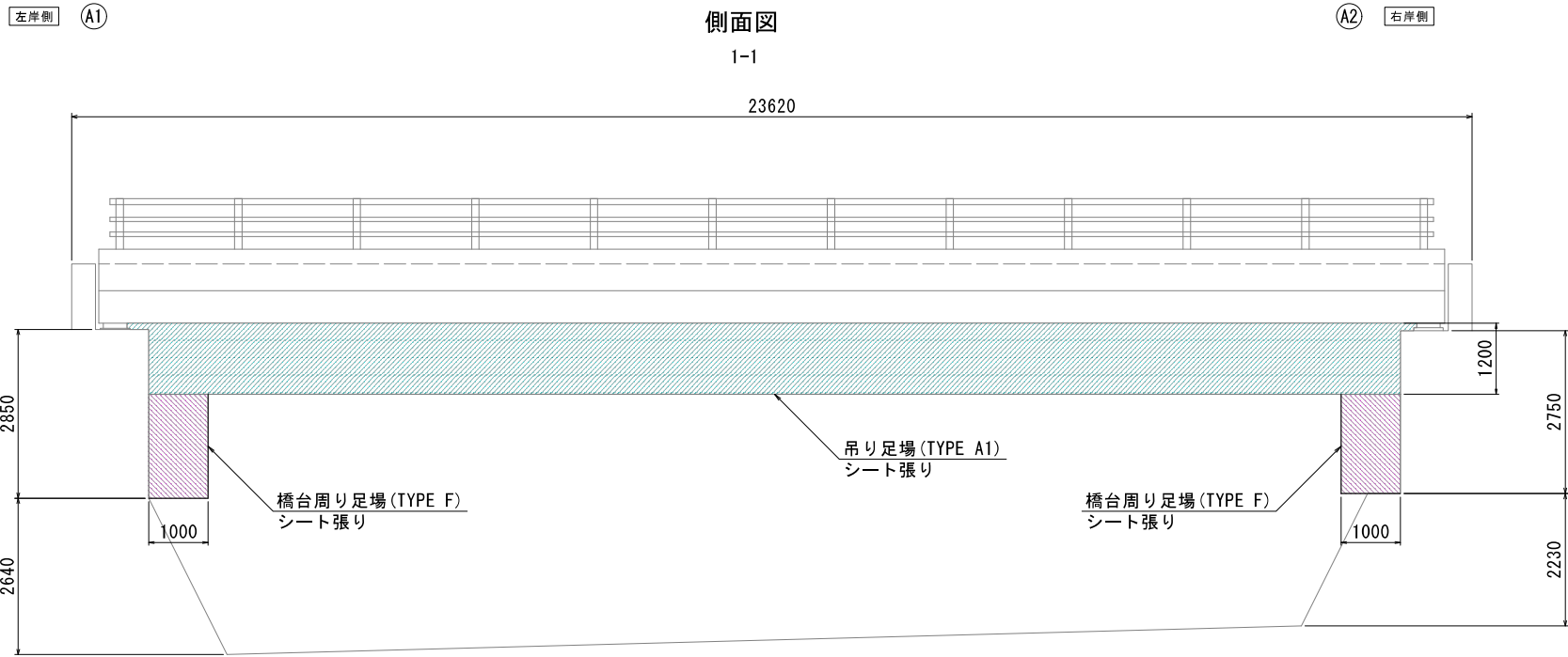
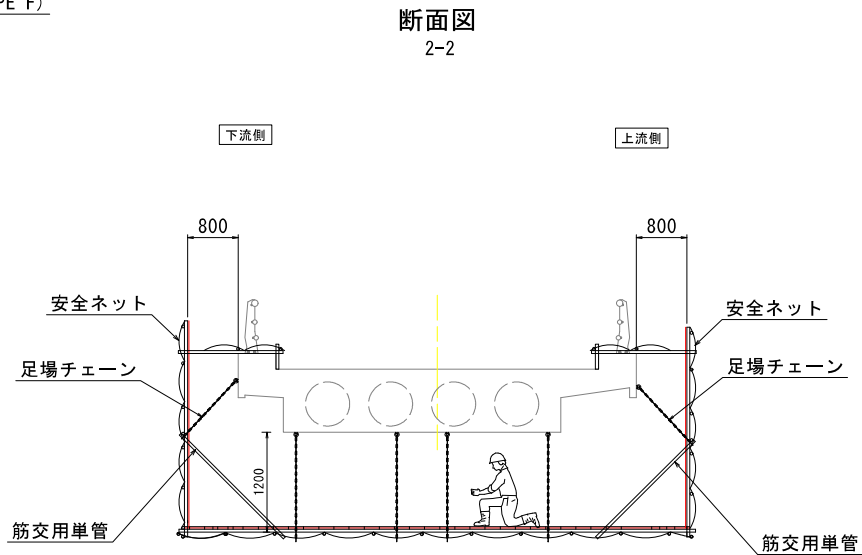
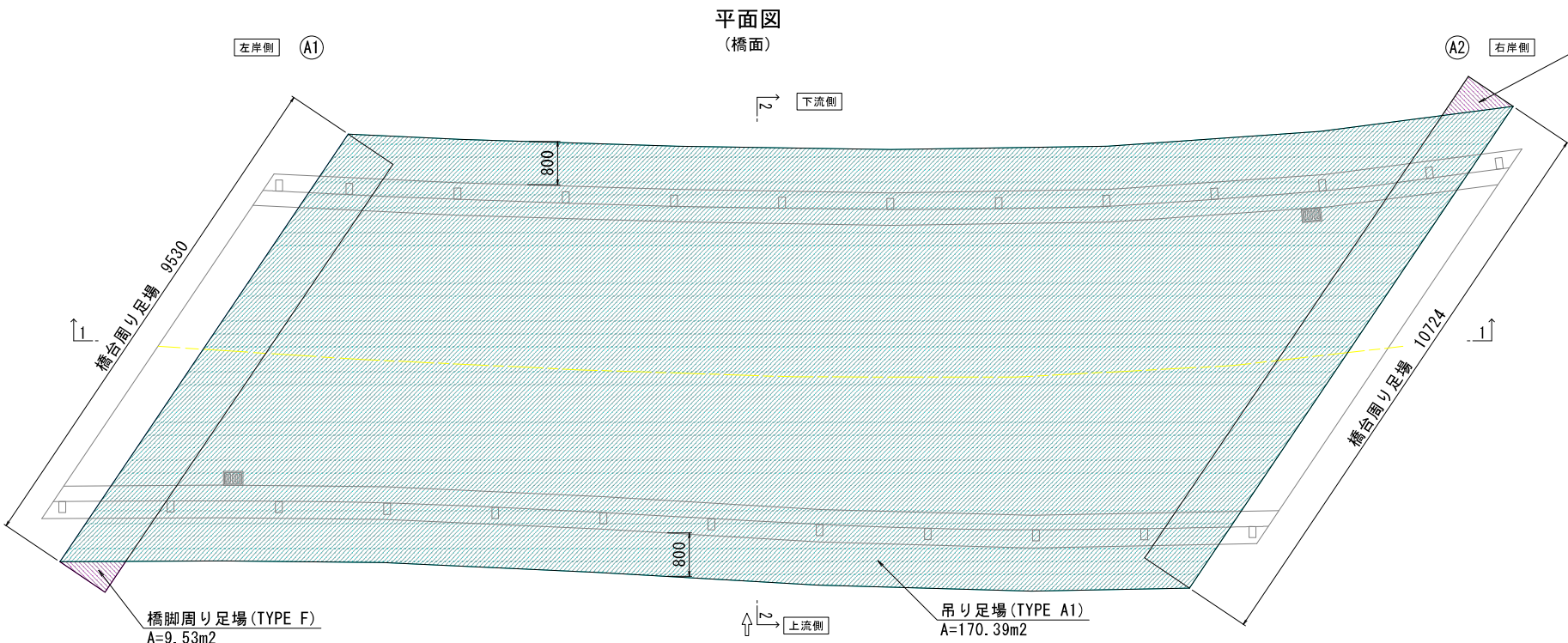


凡 例

	ひびわれ補修工(充てん工法)
	表面保護工(表面含浸工法)

貝原橋			
工事名	令和5年度越前橋梁補修設計業務		
図面名	貝原橋 補修図(その3)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	図示	図面番号	10 / 14
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

貝原橋 足場工図(参考図)



吊り足場 (TYPE A1)

位 置	単 位	数 量	備 考	凡 例
床版下面	m2	170.39	板張, シート張防護	

橋台周り足場 (TYPE F)

位 置	単 位	数 量	備 考	凡 例
橋台	m2	20.25	板張, シート張防護	

- 注)
- 設計段階の参考図であるため工事の際は発注者と協議を実施すること。
 - 吊り足場資材搬入は橋面から想定しているため、交通規制を実施すること。

貝原橋			
工事名	令和5年度越前橋梁補修設計業務		
図面名	貝原橋 足場工図(参考図)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	1:60	図面番号	1 / 14
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		